

2018 年度 水辺の自然再生共同シンポジウム 開催要領

テーマ 守ろう！世界農業遺産「大崎耕土」豊かな自然

－積極的活用と侵略的外来種の防除による里山・里地生態系の保全

趣 旨 2017 年に国連食糧農業機関（FAO）より、大崎地域の持続可能な水田農業と、それを支える伝統的な水管理システムが世界農業遺産に認定されました。大崎地域において里山のため池は古くから里地の水田を潤すと同時に多数の絶滅危惧種を保全するなどして、まさに、農業遺産の重要な役割を果たしてきました。里山里地水辺の豊かな自然を保全し活用するための方策を、市民団体、農業者、行政、研究機関が集い議論します。

期 日 2018 年 10 月 20 日（土）9：30～17：00

会 場： 宮城県大崎合同庁舎 1F 大会議室

（宮城県大崎市古川旭 4 丁目；新幹線古川駅から徒歩 10 分）

主 催： 水辺の自然再生共同シンポジウム実行委員会

（NPO 法人シナイモツゴ郷の会*、旧品井沼周辺ため池群自然再生協議会**、
全国ブラックバス防除市民ネットワーク、ナマズのがっこう）

後 援：大崎市、大崎市教育委員会、JA みどりの、東洋ゴムグループ環境保護基金

*NPO 法人シナイモツゴ郷の会：企画責任団体、 **旧品井沼周辺ため池群自然再生協議会の
会員団体と機関：NPO 法人シナイモツゴ郷の会、シナイモツゴ郷の米づくり手の会、東北大学
女川フィールドセンター、宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団、大崎市世界農業遺産推進課

情報交換会

日時：10 月 20 日 18：00～20：00

会場：レストラン「ときわ」（ホテル古川ヒルズ 1 F：古川市台町 6－1 1）0229-23-2377

会費：4000 円

参加申し込み：下記連絡先へメールなどで 9 月 30 日までお願いします。

現地見学会

大崎市の里山のため池でアメリカザリガニ防除の取り組みを見学し情報交換します。

日時：10 月 21 日 10：00～12：00

集合場所・時間：JR 東北線 鹿島台駅西口

会費：無料

参加申し込み：下記連絡先へメールなどで 9 月 30 日までお願いします。

事務局 NPO 法人シナイモツゴ郷の会（シンポジウム企画責任団体）

実行委員長：高橋清孝 事務局長：浅野 功

問い合わせ先 MAIL kiyotaka-toto*ktf.biglobe.ne.jp（発信時に*を@）

TEL 090-4043-3692

シンポジウム会場へのアクセス

会場 宮城県大崎合同庁舎 1F 会議室

住所 宮城県大崎市古川旭4丁目

アクセス 東北新幹線古川駅、陸羽東線古川駅東口から徒歩10分
イオン古川店の隣

会場地図

